

<その他、取組みに特徴のある事例>

○優良農地の確保に向けた取組み

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	愛媛県伊予郡砥部町 <small>ささがひら</small> 笹ヶ平			
協定面積 6.3ha	田	畑 (100%)	草地	採草放牧地
		果樹		
交付金額 58万円	個人配分			50%
	共同取組活動 (50%)			
	共同利用機械購入等費			19%
	施設積立			30%
		その他	1%	
協定参加者	農業者 8人			開始：平成12年度

2. 取組に至る経緯

笹ヶ平協定は、標高 200m～330mの急峻な山間地に位置し、町の主要作物の果樹(みかん)の栽培を行っている。しかし、近年の農産物・果樹価格の低迷により果樹経営も年々厳しい状況となってきた中で、今後の集落維持・優良農地の確保のために、平成12年度当初(1期対策)から積極的に本制度に取り組んできた。

3. 取組の内容

当協定においては、果樹中心の農家が多く地形的にも急峻な山肌に園地が広がっており、耕作通作路の農道にしても軽四トラック1台がやっと通れるような狭小で、急勾配な農道の通作路があるだけで、耕作者の共同作業による道路等維持管理が重要となっており、協定参加者全員での取組みに共同経費の活用が出来ている。



【農道・周辺林地の下草刈】

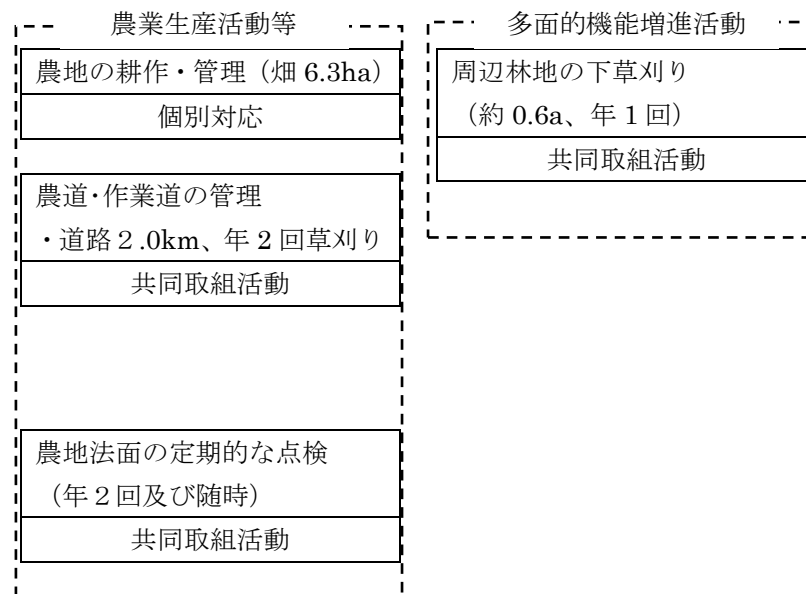
【集落の将来像】

- 優良農地確保・共同作業による園地の充実を図っていく。
また、集落ぐるみで地域の実情に即した持続的な農業生産活動に取り組むとともに、減農薬・減化学肥料栽培の推進に取り組む。



【将来像を実現するための活動目標】

- 1. 農道の維持管理、2. 減農薬・減化学肥料栽培の推進に取り組む、3. 農地の有効活用と所得向上に向け、新規作物の導入を進める。



4. 今後の課題等

これまでに維持管理してきた優良農地を、今後、いかに荒廃さすことなく維持管理していくことが出来るか。

農地の有効利用と所得向上に向け、新規作物などの優良品種投入・共同作業による省力化への取組み。

さらに、協定参加者の高齢化や有害鳥獣被害の対策など集落が抱える問題も多い。

【第 2 期対策の主な成果】

- ・ 共同取組による優良園地の確保。
- ・ 園内作業道路のコンクリート舗装の充実・維持管理。